長崎大学 FD・SD セミナー

「長崎大学の新たな教養教育の実施に向けて」

【日　時】　平成 23 年７月 25 日（月）16：00～17:30

【場　所】　事務局第２会議室（文教地区　事務局別棟３階）

【対　象】　教務委員長、教務委員、学務係長、係員、関係教職員

【内　容】

１６：００～１６：１５	挨　拶	片峰　茂　学長
１６：１５～１６：４０	モジュール構成についての考え方	橋本　健夫　理事（教学担当）
１６：４０～１７：００	モジュール方式の授業方法	山地　弘起　准教授（大学教育機能開発センター）
１７：００～１７：３０	質疑応答	

【参加者内訳】

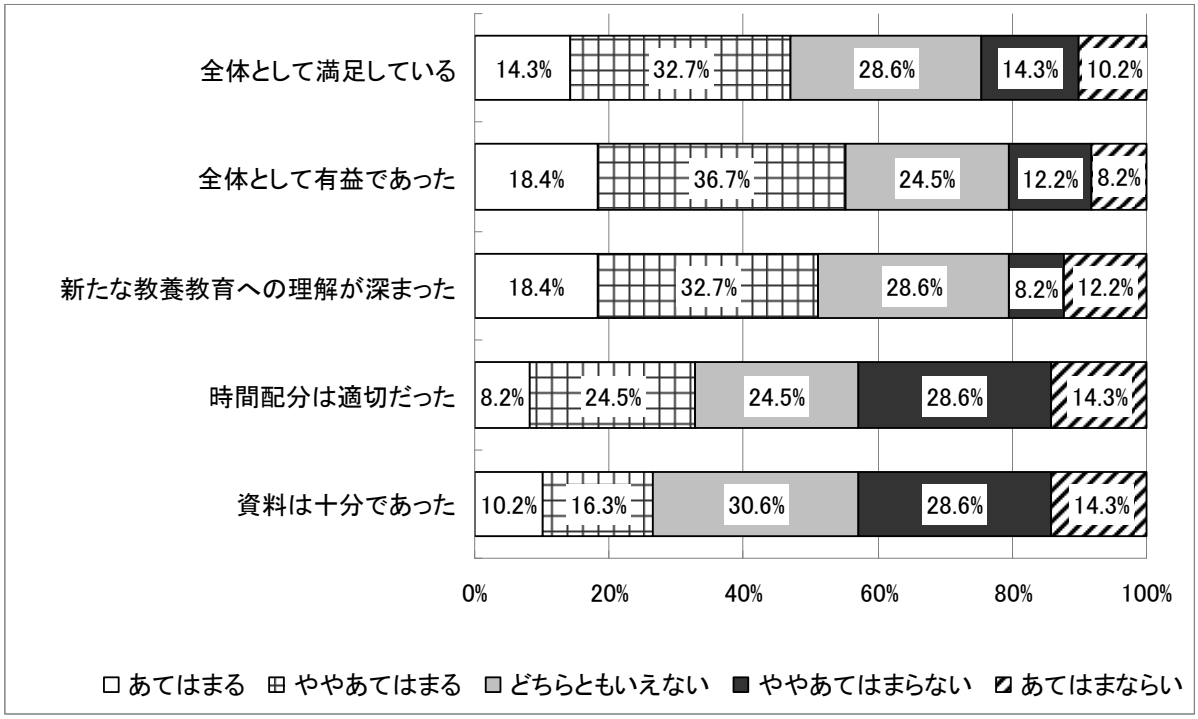
SD 参加者　（31 名）

	職名	人数
広報戦略本部	副本部長	1
国際連携研究戦略本部	主査	1
監事	監事	1
総務部	部長	1
	班長	2
	主査	1
	班員	1
施設部	部長	1
研究国際部	主査	1
学生支援部	部長	1
	専門職員	1
	課長	1
	主査	3
	班員	2
教育学部	係長	1
	事務職員	1
経済学部	係長	1
	事務職員	1
医歯薬学総合研究科（医）	事務職員	2
医歯薬学総合研究科（歯）	係長	1
医歯薬学総合研究科（薬）	係長	1
工学研究科	係長	1
環境科学部	係長	1
	主任	1
水産学部	係長	1
	事務職員	1

FD 参加者（68 名）

	職名	人数
国際連携研究戦略本部	助教	1
教育学部	教授	9
	准教授	4
経済学部	教授	2
	准教授	1
医歯薬学総合研究科（医）	教授	1
	准教授	1
医歯薬学総合研究科（保）	教授	2
	准教授	5
医歯薬学総合研究科（歯）	教授	3
医歯薬学総合研究科（薬）	教授	3
工学研究科	教授	4
	准教授	5
水産・環境科学総合研究科（環）	教授	5
	准教授	6
水産・環境科学総合研究科（水）	教授	3
	准教授	1
熱帯医学研究所	教授	1
医学部先端医育支援センター	助教	2
情報メディア基盤センター	教授	3
	准教授	1
大学教育機能開発センター	教授	2
	准教授	1
共同研究交流センター	准教授	1
	助教	1

【参加者からの評価】



○　新たな教養教育について、疑問点や感想、ご意見がありましたら、率直にご記入ください。

・従来の教養教育について、教員の負担感が大きいという反省があったが、今回の改革でその点が改善されていないのではないでしょうか。特に教育学部では、負担が多すぎる。是非検討して欲しい。（教育学部・教授）

・モジュール案は、専門の前倒しで、本来あるべき教養教育とはほど遠いものです。撤回すべきです。何を取るかも学部が推薦する必要があるという学長のお言葉は気になりました。学生が本来自由に選択するのが、教養科目の良さなのではないでしょうか。（教育学部・教授）

・各教養教育科目を担当責任学部に割り振りながら、あくまで専門教育につなげるための愚策である。基礎的な学問体系に基づいた科目群を設定することができないのでしょうか？体育実技はどうなるのでしょうか？ジェンダー論を必修にして欲しいと思います。（教育学部・教授）

・モジュールⅡが5～6科目として扱われているが、単位としてどうするのか。具体的なスケジュールは？（教育学部・准教授）

・教養教育の定義が曖昧である。各部局が教養教育を受け持つことに無理があるし、本当の意味での教養教育、学生にとって有益な教育を提供できるかに疑問がある。教育の改革にはなると思うが、結果的に学生の利益になるかよく分からない。学生の希望するモジュールに当てはまらない場合、学習へのモチベーションが維持できるかが心配である。（教育学部・教授）

・①英語も重要であるが、Nativeと日常会話ができる程度を目標とし、長崎大学の他大学との差別化を図るためには中国語力の養成を図っても良いのではないか。②今回の教養教育改革の目標及びその評価をどうするか、どう改善につなげるかを明示すべき。③全学教育部門がマネジメントするモジュールをつくるべき。（医学部・准教授）

・もっと説明会を多くしたらどうでしょう。中部講堂や医学部良順会館やら･･･。共通認識を持てるために、又は賛同者を得るためには情報開示が必要と思います。（医歯薬学総合研究科・准教授）

・新しい教養教育について考え検討してきた部局としては、あまり検討されていない部局が入口にも入っていないことに驚きを覚える。いろんな疑問があるかも知れないが、先ず具体的に考えるべきである。（保健学科・教授）

・より多くの教員が参加すべきであると思います。（保健学科・准教授）

・保健学科の具体例が最も理解しやすかった。（歯学部・教授）

・モデル教材を例にして、シラバスや具体的な授業マネジメントに関して、早く示すべきだと感じる。（薬学部・教授）
・本部と部局の意識差は依然大きく、離れている。いろんな角度からの情報伝達は続けて欲しい。（薬学部・教授）
・学部を越えたモジュール作成が本当に出来るのか？誰が調整するのか？学部、教務委員長？負担が大きすぎるのでは？（工学部・准教授）
・多様な教養を身に付けることが難しくなると思います。学生にとっては選択の範囲が狭まることになって、単位取得が難しい学生が出てくるのではないかと思う。在学生の教養科目は、どのように進めるのか？読み替え？新しいことを進めてもらうのは良いが、負担の少ない方法をぜひよく考えて頂きたい。例えば、これまでの教養教育をいそのまま行えるようにモジュールを組んでいって、足りない部分だけとりあえず新しく作り出すなど。（水産・環境科学総合研究科・教授）
・学生の基礎学力がますます低下するのではないか。教養教育では、大学生として必要な幅広い知識を得ることが重要であるが、例えば数学、経済学、物理学、化学等の基礎をしっかりと学ぶことが重要。自学部用モジュールで対応出来ない部分を是非リメディアル教育できちんと学ばせて欲しい。（水産学部・教授）
・考え方に多くの断絶があり、従来の経験が生きてこないように思う。今までうまくいかなかったからといって、変えてうまくいくということはないだろう。抽象的な話が多く、具体性を帯びたときに穴だらけになることが予想される。理系的な基礎学力・技能についてはあまり多様性がないのが現状で、ファミレスのようなメニューを用意するというのは違うのではないか。この大学における決定過程が不明朗であることが再認識できた。（水産・環境科学総合研究科・准教授）
・①せっかく多くの学部があるのに、学生がいろんな学部の教員と触れる機会を奪ってしまう。②問題点についての解決策が十分に練られていない。③上意下達的なやり方では教員のやる気を引き出せないと思う。（水産学部・准教授）
・専門科目のコマ数は減るのでしょうか。（環境科学部・准教授）
・2 年間全学教育での授業を担当してきました。授業準備も含めて大変充実しておりました。私は学部を持たない部局（CICORN）に所属していますが、今回新たな教養教育へ移行することによって、つまり学部主導となることによって、授業担当者という形での関与ができなくなるのではないかと心配になったのですが、これは勘違いでしょうか。（TA・SA の活用にも距離があります）公共性・文化多様性の意義をケーススタディとして示し、学生に学んで欲しいと願っています。（国際連携研究戦略本部・助教）
・モジュールのコンセプトに至る考え方については、ある程度理解が進みましたが、モジュールの具体的な構築で、人的な配置、履修上の課題が含まれているように感じております。（情報メディア基盤センター・准教授）
・自学部用モジュール（全学教育）と専門科目、基礎科目との違い（差）がよく理解できないと感じた。あいまいなのでは？（総務部・事務職員）
・モジュールを構成するにあたり、いくつかの疑問が解決したので良かった。（医歯薬学総合研究科・事務職員）
・山地先生の説明をもっと具体的に説明が欲しい。時間が足りないので、詳細を。（事務職員）
・3 つの分野から典型的なモジュールの具体案は、いくつもできると思われるが、その具体案が何もない状況での議論、討論は不毛ですね。近々にいくつかの具体案を作成し、それを前提にモジュールのあり方、その可能性と限界を議論すべきだと思います。この教養教育カリキュラムがうまくいくかどうかは、モジュールのバラエティと質によりますが、良いモジュールと良い教育は異なるので、その部分において、長崎大学には不安を感じます。（広報戦略本部・戦略職員）
・もっと十分に検討するべきと考えます。教員個々の授業が魅力的であれば、やり方を変えなくても学生に教養教育として学んだことが残るはず。その根本がないため、この改革は失敗に終わるはず。学長を含め執行部の方々は教養教育で行われている授業を見てみるべき。（事務職員）
・モジュールの組み方がよく分からない。幅広い教養を学ぶことになるのか疑問があります。（教授）

・新しい教養教育の全体像が見えない（つかめていない）ので、先生方に説明や依頼をする際に具体的な内容を伝えることが出来ていません。
・学内への周知が不十分であり、共通認識となっていないと感じた。平成24年度からの実施はスケジュール的に厳しいのではないか。これからも十分な検討・議論を行う時間が必要だと思った。
・現状の実施方法について、十分議論されず、B案は性急すぎる。
・モジュールはすでに決定というのがおかしい。
・再検討すべき。（教授）
・執行部の理念はすばらしいと思う。しかし熱研が現在関わっている海外拠点、研究、大学院教育の国際標準化等々といった活動が犠牲にならざるを得ない事を承知して頂きたい。（熱研・教授）
・教育学部の教員がこの新たな教育改革について前進がないと感じ正直がっかりしました。教育の目標はどこにあるのか考えさせられたFDでした。（保健学科・准教授）

○今回のセミナーの運営に関して、何か感想やご意見がありましたら、ご記入ください。

・モジュールについて理解が深まった。（教育学部・教授）
・質問の時間が本来の予定の時間でなかったので、具合が悪いと思いました。（教育学部・教授）
・つじつま合わせに急に設定したセミナーだと思う。授業時間への配慮もない。（教育学部・教授）
・がんばってください。（医歯薬学総合研究科・准教授）
・時間配分を工夫すべきだった。（薬学部・教授）
・アナウンスをもう少し早く。（薬学部・教授）
・広く考えを振興させたいのであれば、中部で開催すべきだった。（工学部・准教授）
・参加数が少ないのでは？各学部の教授会の時に説明して回ってみるなど教員、全員に知らせるべきでは？（水産・環境科学総合研究科・教授）
・全教員を対象にすべき（水産学部・准教授）
・時間が短いように感じました。（国際連携研究戦略本部・助教）
・今回のセミナーは第１回ということで、近々に中部講堂でも開催されるとありがたいです。（情報基盤センター・准教授）
・来年度からの導入ということですが、このセミナーは遅すぎますね。これから１年以上かかるように感じました。（広報戦略本部・戦略職員）
・説明・質疑応答の時間が不足していた。
・多くの方が出席出来る時間帯の設定をお願いしたい。（教育学部・教授）